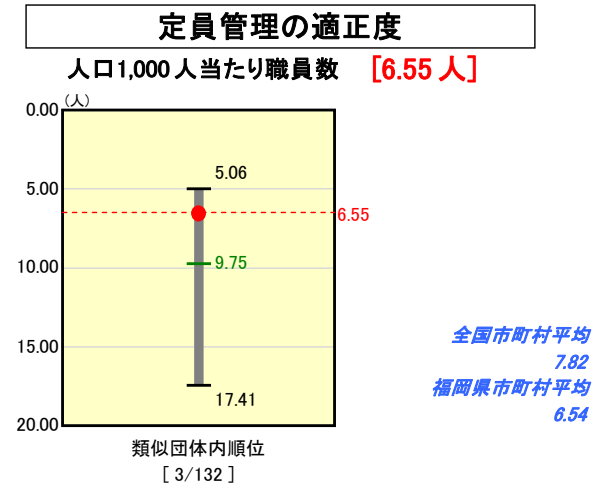
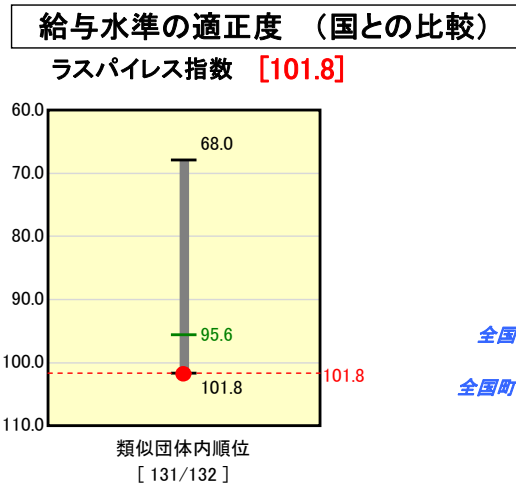
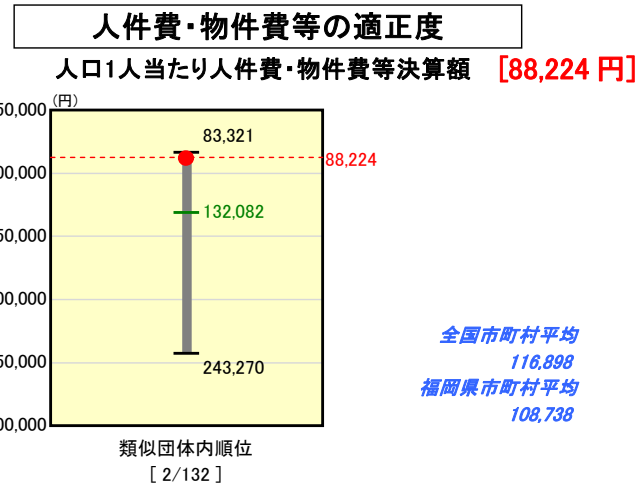
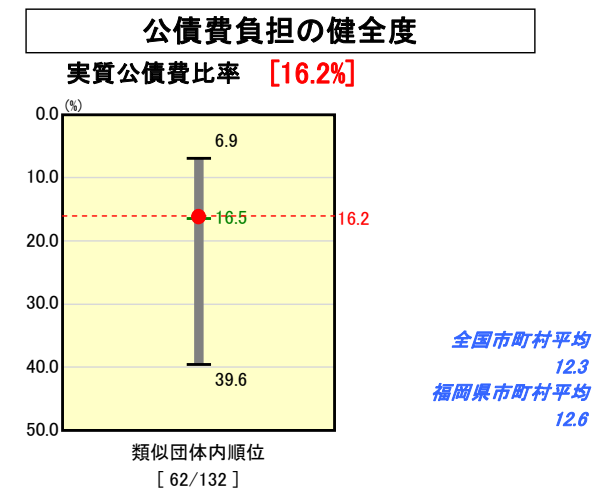
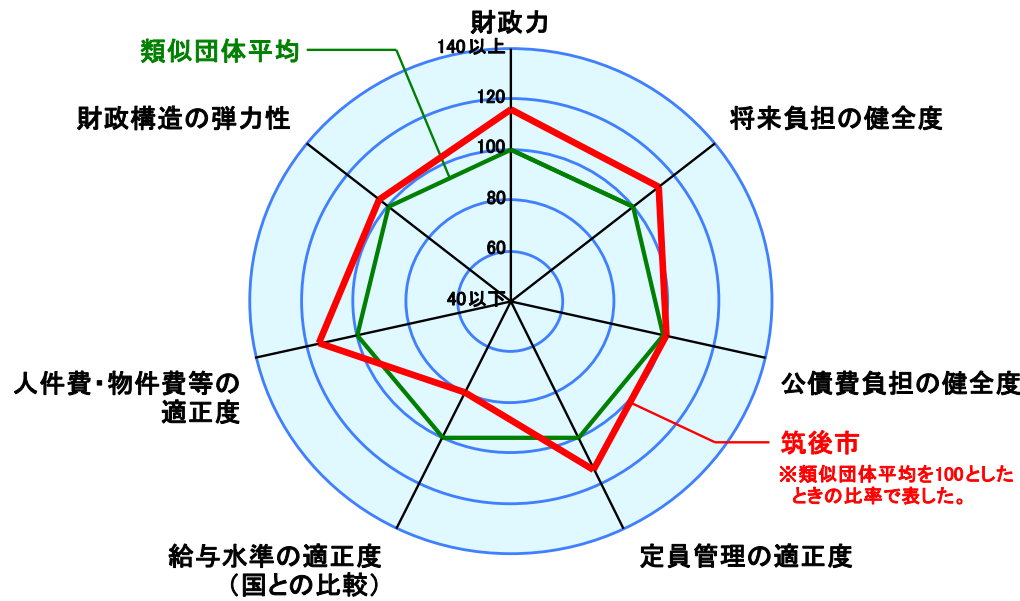
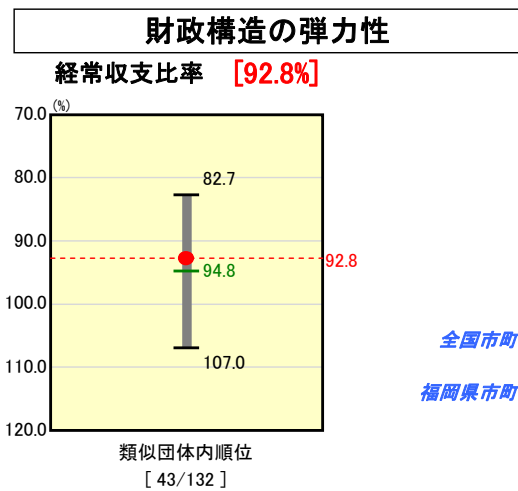
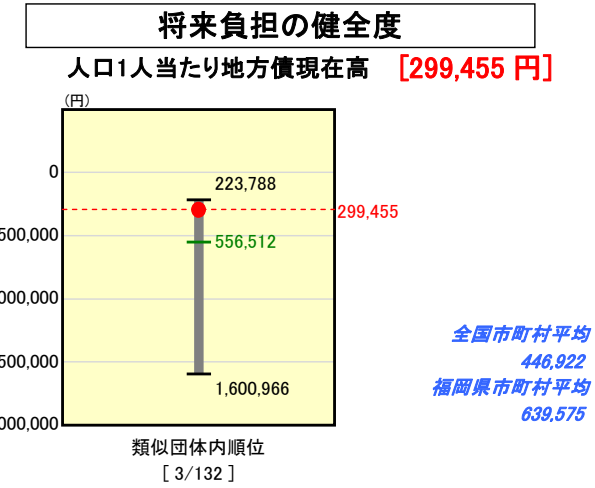
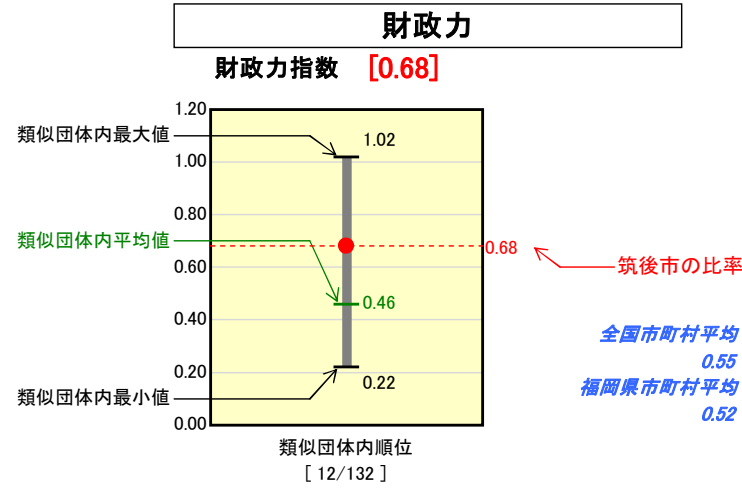


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福岡県 筑後市

人口	48,560 人	(H20.3.31現在)
面積	41.85 km ²	
歳入総額	14,421,683 千円	
歳出総額	14,041,504 千円	
実質収支	299,425 千円	



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 ※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※ラスパイレース指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
 ここ数年間の法人市民税の伸びにより0.68まで伸びてきたが、景気が悪化している状況のため法人市民税は減少するものと思われる。今後は安定的な財政基盤を作っていく必要がある。

○経常収支比率
 平成17及び18年度に実施した繰上償還による公債費の減、「集中改革プラン」による人員削減による人件費の減などにより、経常経費充当一般財源は大きく減少したが、法人市民税や普通交付税の減により、経常一般財源も減少したため0.1%の改善にとどまった。平成20年度は普通交付税が増額となったため、経常一般財源収入が伸びることが期待できる。

○実質公債費比率
 八女西部クリーンセンター建設、市立病院改築、公共下水道事業などの大規模事業の償還などにより、実質公債費比率は高い水準となっていたが、平成17及び18年度に実施した繰上償還の効果により1.6%改善した。今後は、九州新幹線筑後船小屋駅開通事業などの大規模事業を実施予定であるが、適切な起債発行に努め実質公債費比率の改善を図っていく。

○人口1,000人当たり職員数
 現在でも全国平均よりかなり少ない職員数であるが、財政状況が厳しい状況であり「集中改革プラン」や「財政健全化計画」による5年間で40人削減に向け努力中である。

○ラスパイレース指数
 ラスパイレース指数は、類似団体の中でも一番高い数値となっている。今後は国や他自治体との均衡を図るため、中堅・高齢職員給の1%削減、管理職員給の3%削減、中堅職員以上の通常昇給1/2カットなどを実施していく。

○人口1人当たり地方債現在高
 繰上償還の実施や市債発行の抑制を実施してきたため、昨年度より市民一人当たり10,067円減少している。今後も市債発行の抑制を図り、適正な地方債残高を目指していく。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
 類似団体と比較して少ないのは、職員数が少ないことが大きな要因である。また、行政評価を導入し、事務事業改善を進めることで物件費等の抑制に取り組んでいる。